

2023年3月期 第3四半期 決算説明資料

2023年2月14日



目次

- | | |
|---------------|------|
| 1. エクゼクティブサマリ | P.3 |
| 2. 第3四半期決算概況 | P.8 |
| 3. 業績見通し | P.24 |
| 4. 成長戦略 | P.29 |
| 5. ソフトウェア事業環境 | P.32 |
| 6. 当社の優位性 | P.38 |
| 7. 会社概要 | P.42 |

1. エグゼクティブサマリ



前年同期比**増収大幅増益、過去最高の業績で進捗**

2023年3月期 第3四半期累計

売上高

65.4億円

前年同期比 **+36.8%**

営業利益

8.2億円

+212.5%

親会社株主に帰属する
四半期純利益

5.6億円

+212.5%

単価

733千円

前年同期比 **+48**千円

稼働エンジニア数
(2022年12月末時点)

1,156名

+260名

案件数

2,825件

+410件

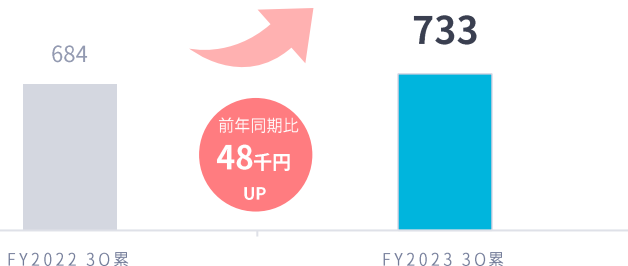
※株式会社ミントを2022年4月より新規連結しております

業績ポイント

- ✓ 金融、公共や流通向けなどのエンタープライズ系領域が堅調に推移
- ✓ DX需要を取り込んだWebサービス案件も順調に増加
- ✓ 増収に伴い各段階利益も増益
- ✓ 人材採用を通年採用に変更したことにより採用費は増加

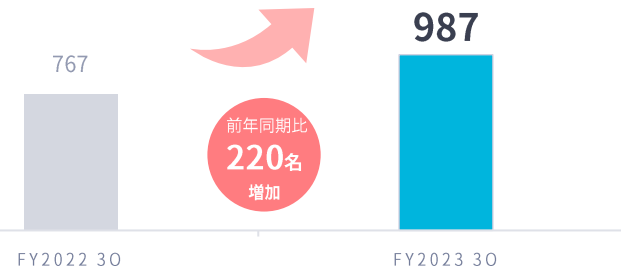
単価、稼働人員数、案件数はいずれも**前年同期比大幅UP**

単価※1 (千円)



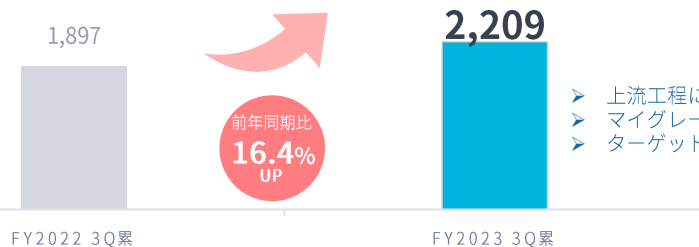
- ▶ エンタープライズ領域の売上割合増加
- ▶ 既存顧客の継続好調
- ▶ テスト自動化導入支援の積極提案

稼働人員数 (ソフトウェアテストセグメント/名)



- ▶ 応募者数の増加
- ▶ ビジネスパートナーとの関係強化
- ▶ ジョイン企業との連携が順調

案件数 (件)



- ▶ 上流工程にPMO※2・QMO※3として参画多数
- ▶ マイグレーション※4案件の獲得増
- ▶ ターゲット業界のアプローチ好調（金融・公共・大型EC等）

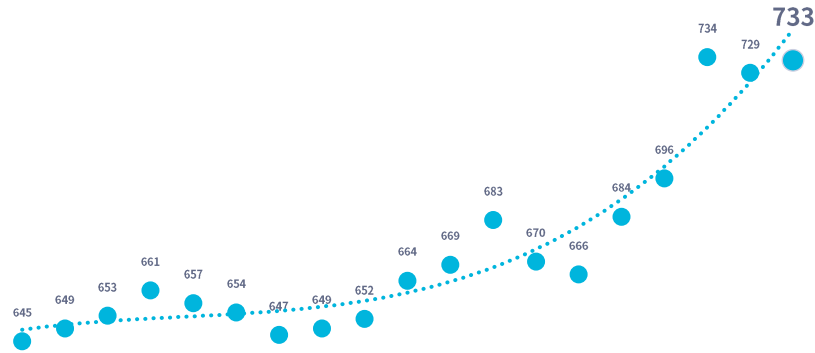
※1 単価（月間）＝ ソフトウェアテストセグメントの売上高 ÷ エンジニア数の延べ人数（正社員+契約社員+ビジネスパートナー）
 ※2 Project Management Officeの略で、組織内における個々のプロジェクトマネジメントの支援を横断的に行う部門や構造システム
 ※3 Quality Management Officeの略で、組織内における個々の品質管理の支援を横断的に行う部門や構造システム
 ※4 ソフトウェアやシステム、データなどを別の環境に移動したり、新しい環境に切り替えたりすること

単価の推移（ソフトウェアテスト）、稼働エンジニア数の推移（連結）

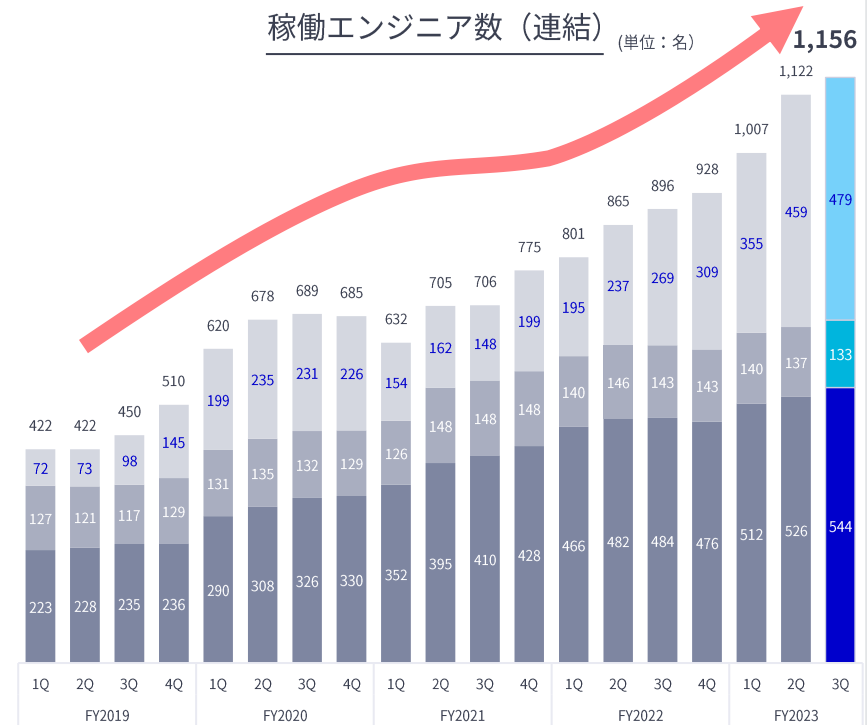
単価**700千円**超、エンジニア数**1,100名**を突破し、継続した成長へ

エンジニア1人当たりの売上高（月間）※
（ソフトウェアテスト）

（単位：千円）



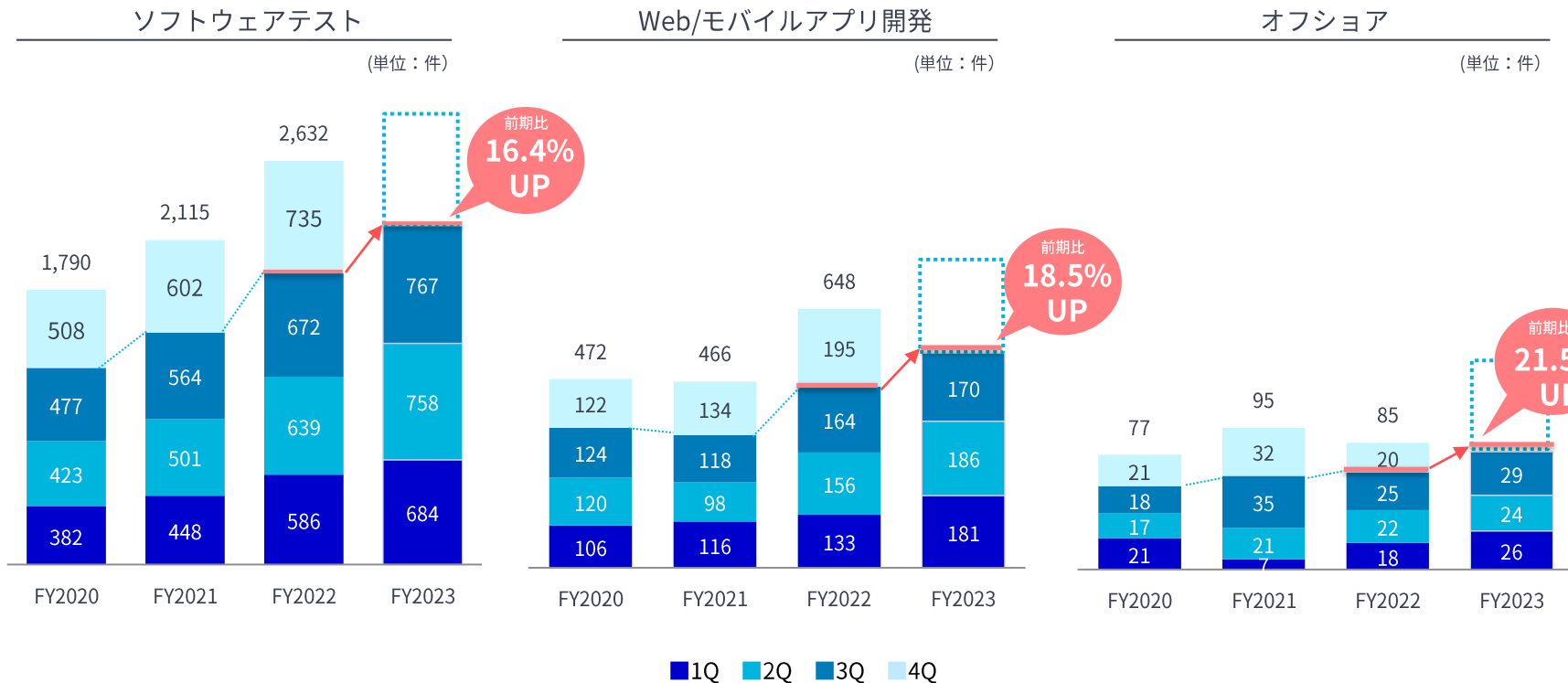
稼働エンジニア数（連結）（単位：名）



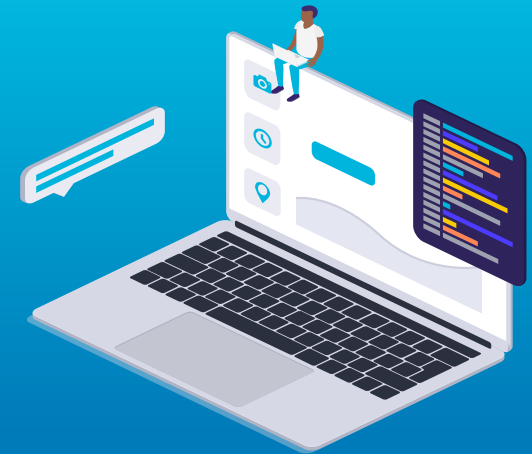
※エンジニア1人当たりの売上高（月間）＝ ソフトウェアテストの売上高 ÷ エンジニア数の延べ人数（正社員+契約社員+ビジネスパートナー）

■正社員 ■契約社員 ■ビジネスパートナー

全セグメントが**二桁成長**で増加



2. 第3四半期決算概況



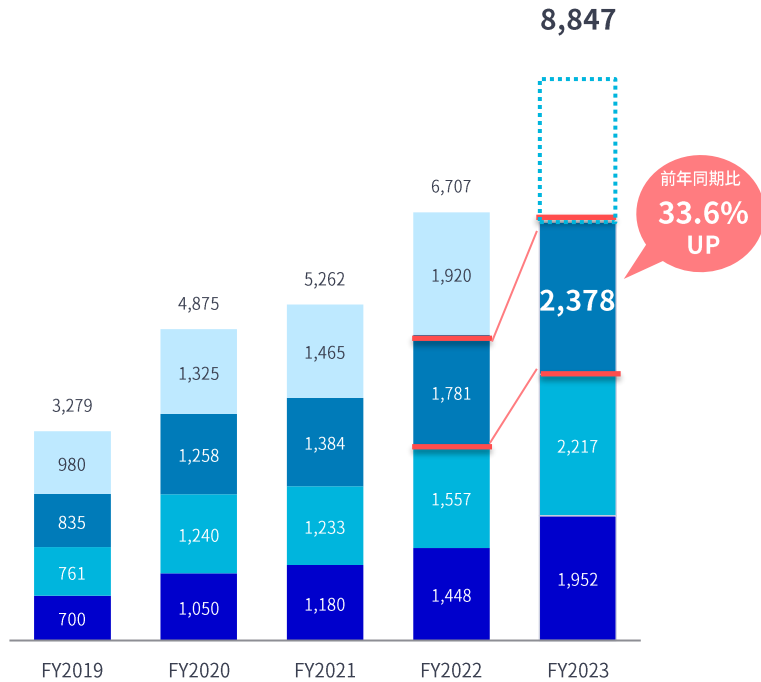
前年同期比 売上高 **+36.8%**、営業利益 **+212.5%** 営業利益率は二桁台

	FY2022 3Q累計		FY2023 3Q累計			
	(百万円)	売上高比 (%)	(百万円)	売上高比 (%)	前年同期比増減 (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	4,787	100.0	6,548	100.0	+1,761	+36.8
営業利益	262	5.5	821	12.5	+558	+212.5
経常利益	266	5.6	831	12.7	+565	+212.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	182	3.8	569	8.7	+386	+212.5
1株当たり 四半期純利益 (円)	26.37		83.81			

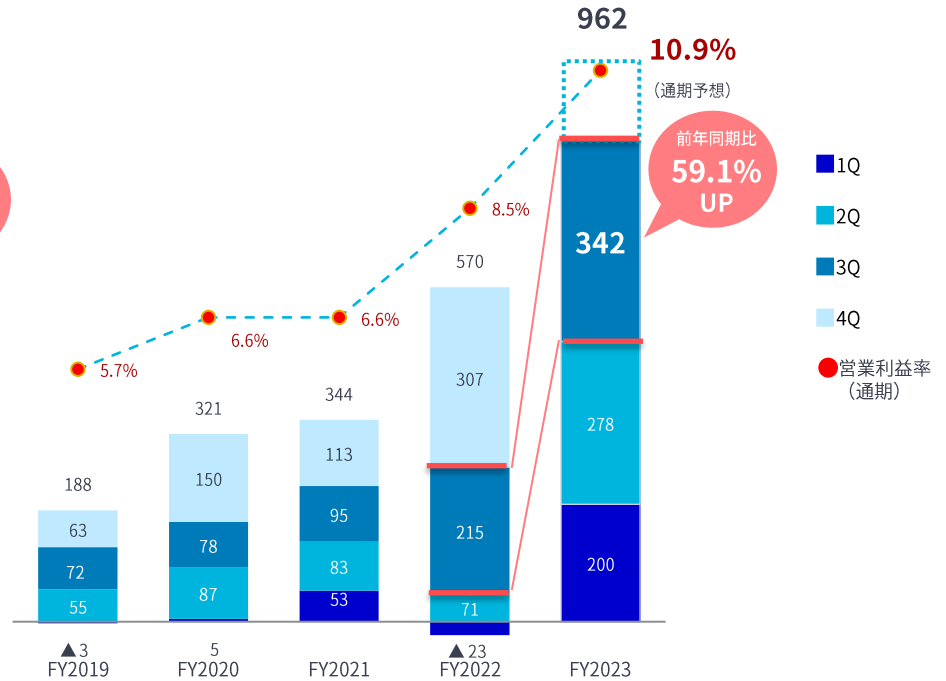
売上高、営業利益 四半期推移 (会計期間)

前年同期比 売上高**+33.6%**、営業利益 前年同期比**+59.1%**

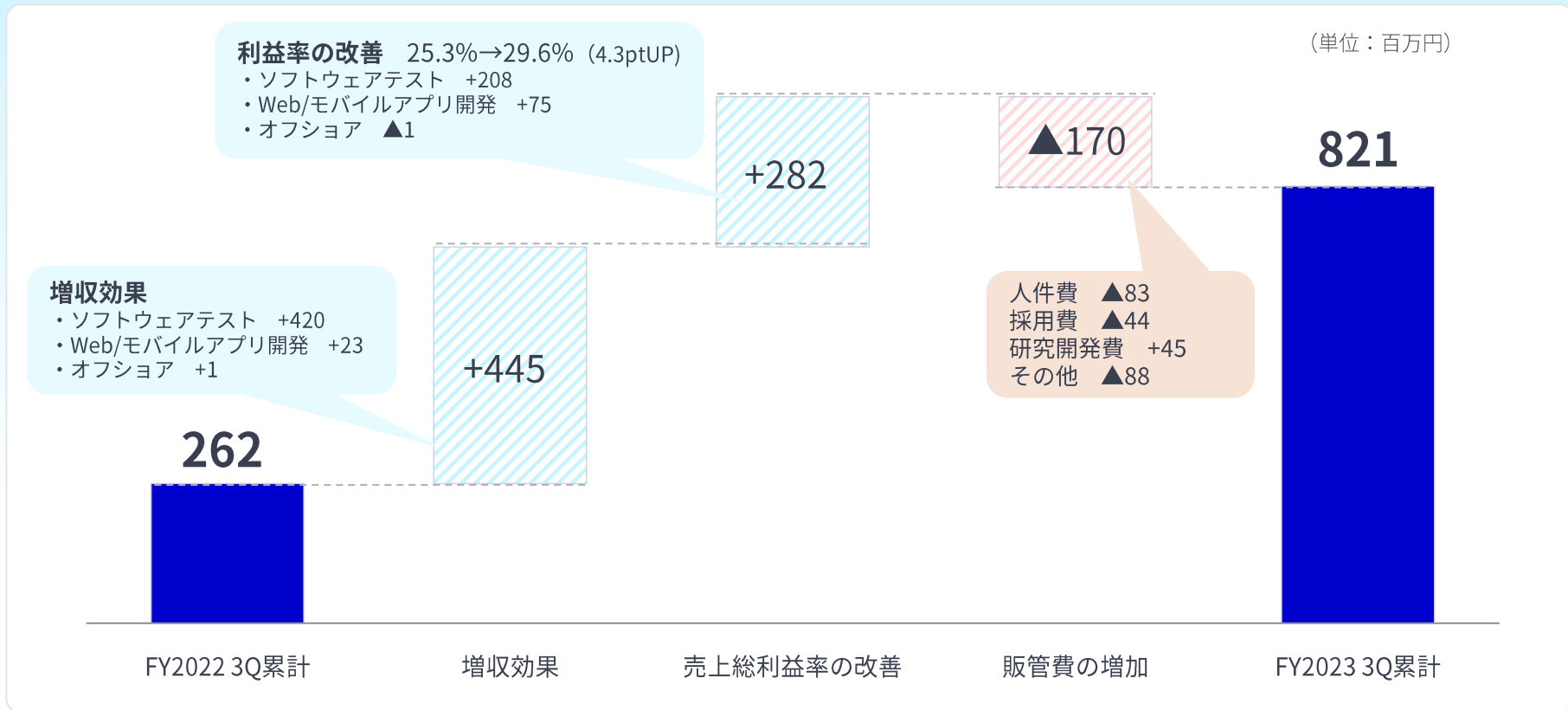
売上高 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円)



増収、売上総利益率改善により各種成長投資コストを吸収し大幅増益



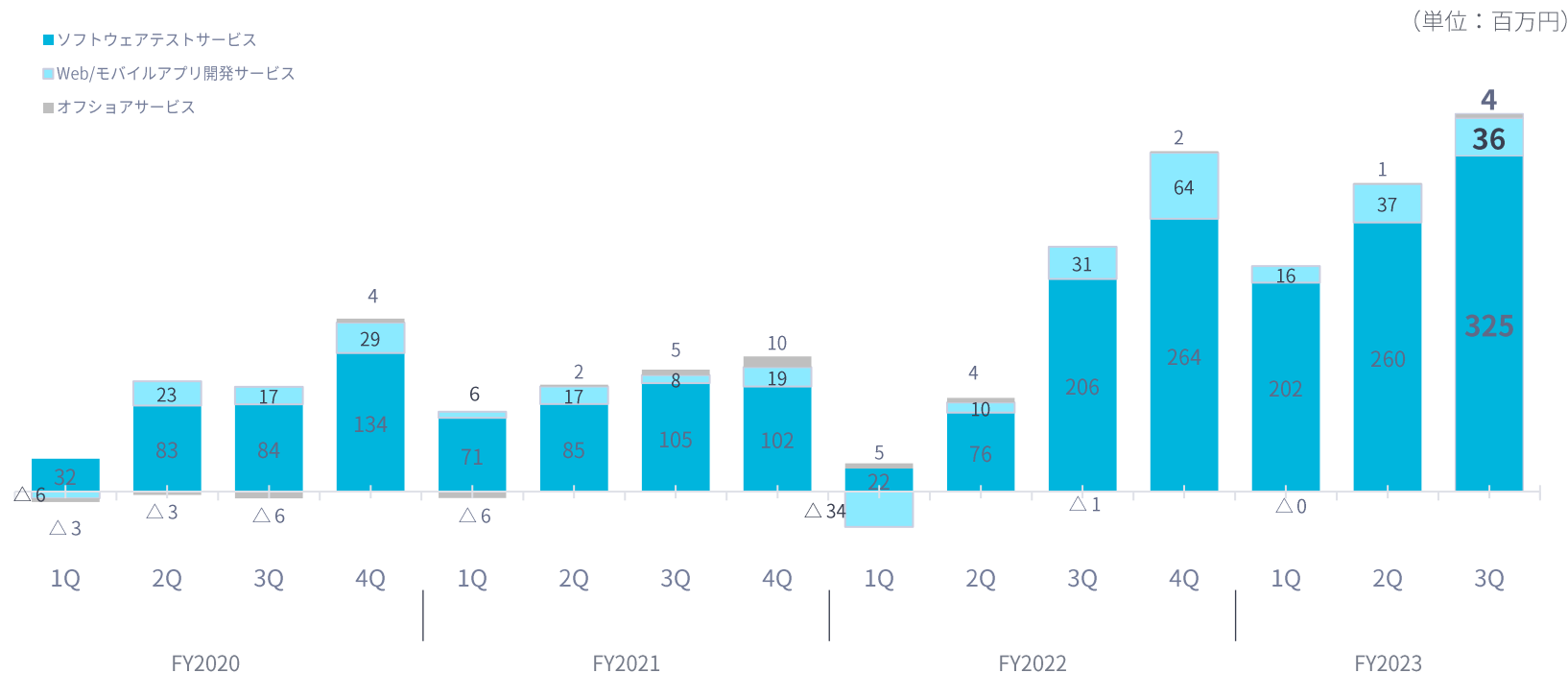
連結販管費 内訳	FY2022 3Q単	FY2023 3Q単	FY2022 3Q累計	FY2023 3Q累計	FY2023 3Q累計	
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	前年同期比増減 (百万円)	前年同期比 (%)
販管費	307	392	948	1,118	+170	+17.9
人件費	138	163	409	492	+83	+20.3
採用費	28	72	131	175	+44	+33.6
研究開発費	26	12	77	31	▲45	▲59.6
その他	114	143	330	419	+88	+26.9

人件費 +83 →営業およびガバナンス体制強化に伴う人数増加、2022年10,11月インフレ特別手当の支給
 採用費 +44 →従来は上半期に偏重していた人材採用を通年採用方式へ変更した影響
 研究開発費 ▲45 →前期はT-DASH（ソフトウェアテスト自動化ツール）等の新規サービス開発に対する先行投資があった
 その他 +88 →PR費用の増加、のれん償却費の増加、行動制限緩和に伴う出張旅費の増加、等

連結正社員 入社人数 エンジニア+販管部門	FY2022 3Q単	FY2023 3Q単	FY2022 3Q累計	FY2023 3Q累計	FY2023 3Q累計	
	(名)	(名)	(名)	(名)	前年同期比増減 (名)	前年同期比 (%)
総数 (うちエンジニア)	29 (26)	52 (39)	137 (117)	153 (128)	+16 (+11)	+11.7 (+9.4)

(単位：百万円)	FY2022 3Q累計	FY2023 3Q累計	
	実績	実績	前年同期比
売上高	4,787	6,548	+36.8%
ソフトウェアテスト	4,306	5,960	+38.4%
Web/モバイルアプリ開発	576	717	+24.4%
オフショア	58	67	+14.6%
セグメント間取引消去及び全社費用	▲154	▲197	-
営業利益 (利益率)	262(5.5%)	821(12.5%)	+212.5%(+7.0pt)
ソフトウェアテスト	304(7.1%)	786(13.2%)	+158.5%(+6.1pt)
Web/モバイルアプリ開発	6(1.2%)	89(12.5%)	+1,212.4%(+11.3pt)
オフショア	8(15.0%)	5(8.0%)	▲38.8%(▲7.0pt)
セグメント間取引消去及び全社費用	▲57	▲60	-

ソフトウェアテスト 四半期3ヶ月で最高の営業利益**3億円**



※株式会社ミントを2022年4月より新規連結しております。
 ※各セグメント利益の合計からセグメント間取引消去および全社費用を調整するため、営業利益合計値とは異なります。

ソフトウェアテスト

(エンタープライズ案件、WEBサービス/組込み系案件、小売り系案件等)

エンタープライズ案件の拡大により一層の案件大型化・単価上昇を進める

- 大型案件の上流工程からPMO・QMOとしての参画増加、単価上昇へ
- 金融・公共・流通などターゲット業種からの受注拡大
- 既存システムのマイグレーション案件の受注獲得
- DX需要を取り込み、Webサービス案件の受注拡大
- 新たにグループインした株式会社ミントとのシナジーにより、金融系案件の業績拡大を目指す
- 当社のテスト・品質向上手法を身に付けた社員による品質の安定
- 正社員採用部門の機能強化
- ビジネスパートナー獲得の活動強化

Webモバイルアプリ開発

(アプリ開発、システム開発、セキュリティ診断)

セキュリティ事業拡大、
新規技術の積極導入・開発を目指す

- 脆弱性診断によるセキュリティ需要の取込みで安定した収益を確保
- メタバース分野（xR技術）に進出、
新サービスの開発
- リバースエンジニアリングサービス※の
販売が好調

※ システム操作やソースコードの解読により開発ドキュメント（各種設計書）を作成するサービス

オフショア

(オフショアテスト、オフショア開発)

ロックダウン後の経済正常化に対応すべく
エンジニア積極増強で事業拡張

- 現地日系企業との取引拡大により
各四半期で安定した売上へ
- エンジニアの積極採用
- フリーランスのビジネスパートナーも
活用

自動車・車載系案件を中心とした品質向上支援サービス協業の実施へ



- ・ QUINTEEに基づく体系的なテスト技法
- ・ 様々な業界での豊富なテストナレッジ
- ・ 人材供給力



- ・ 上流工程のコンサルティングノウハウ
- ・ 自動車・車載系案件の豊富な実績

提携内容①

車載案件における協業

提携内容②

W字モデル※1にUSDM※2およびバルテスのテストナレッジを加えた、改良型プロセスを定義し、
上流工程における品質向上サービスを共同提供

※1 開発初期（要求定義や設計の段階）から開発フェーズとテストフェーズを同時に並行して進めていくテストモデルのこと

※2 Universal Specification Describing Mannerの略で、正確な要求仕様を定義するための仕様化の技法

自社採用サイトからの応募が前年比+**425.0%**

Welcome campaign
当社からの直接応募で入社祝い金として

最大 **200**万円
をプレゼント!

※その他諸条件があります

> MORE

応募期間
2023年
3月31日
まで

キャンペーン内容

当社採用ページから直接応募でご入社いただいた方に
入社祝い金として、3/31までの応募で最大**200**万円を支給。

効果

応募数前年比

+**425.0%**

2/1までとしていたが、効果が高く、
3/31まで期間延長。

また支給額も元々の最大100万円を、
最大200万円に上積みし、
さらなる**採用数の増加**へ

オフィスの移転、拡張を機に、さらなる**採用数の向上**と**従業員満足度の向上**へ



※パースイメージは東京本社のもの

東京本社

移転先 : 東京都千代田区麹町1-6-4住友不動産半蔵門駅前ビル11F
営業開始日 : 2023年2月20日

大阪本社

拡張先 : 大阪市西区阿波座 1-3-15関電不動産西本町ビル3F (大阪本社総合窓口は同ビル8F)
営業開始日 : 2023年3月1日

オフィスの移転、拡張を機に、より一層の働きやすい環境を整備、
更なる社員のエンゲージメントや採用力の向上へ

総務省後援 「第16回ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2022」

テス友、Qbookアカデミーが入賞



支援業務系ASP・SaaS部門

テスト技術者資格認定の勉強用アプリ/ウェブサービス「テス友」



国内において、ソフトウェア品質に関わる資格試験を網羅しており、資格取得の支援を通じて、ソフトウェア品質の向上に寄与しています

- JCSQEソフトウェア品質技術者資格試験初級
- JSTQB認定テスト技術者資格 Foundation Level
- IT検証技術者認定試験(IVEC)



基幹業務系ASP・SaaS部門

開発エンジニアにとって避けがたい品質課題を解消するスキルを身につけることができる無料eラーニングサイト「Qbookアカデミー」



Qbook アカデミー

テストってこんなにおもしろい

品質保証のプロが監修したコンテンツで、開発エンジニアにとって避けがたい品質課題を解消するスキルを身につけることができます。

※「ASPIC IoT・AI・クラウドアワード」は、一般社団法人ASP・SaaS・AI・IoTクラウド産業協会が主催。「クラウド事業者及びユーザ企業の事業拡大を支援し、クラウドサービスが社会情報基盤として発展・確立することの一助になること」を目的とし、「日本国内で優秀かつ社会に有益なクラウドサービス」に対しサービスを表彰及び支援するものです。

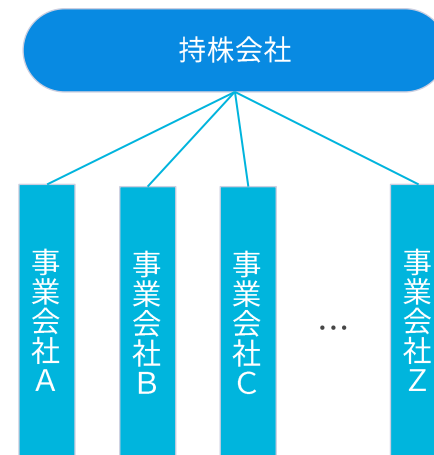
持続的な成長を実現するため、経営資源の最適化を推進



移行の目的

- ①ソフトウェア品質向上の価値提供を行う事業の強化
- ②グループガバナンスの強化
- ③経営者人材の育成

具体的な移行方法については、最適な方法を今後検討してまいります。いずれの方法による場合であっても、現在当社の株主である皆さまが保有することとなる持株会社の株式について、引き続き上場が維持される方法で実施予定です。



	FY2022 3Q累計		FY2023 3Q累計			
	(百万円)	売上高比 (%)	(百万円)	売上高比 (%)	前年同期比増減 (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	4,787	100.0	6,548	100.0	+1,761	+36.8
売上原価	3,575	74.7	4,607	70.4	+1,032	+28.9
労務費	2,353	49.2	2,561	39.1	+207	+8.8
外注費	1,044	21.8	1,882	28.7	+838	+80.2
その他	177	3.7	164	2.5	▲13	▲7.5
販管費	948	19.8	1,118	17.1	+170	+17.9
人件費	409	8.6	492	7.5	+83	+20.3
採用費	131	2.7	175	2.7	+44	+33.6
研究開発費	77	1.6	31	0.5	▲45	▲59.6
その他	330	6.9	419	6.4	+88	+26.9

(単位：百万円)

資産の部	FY2022	FY2023 3Q	対前期末
現金及び預金	1,356	1,463	+107
売掛金+契約資産	911	1,064	+153
流動資産合計	2,345	2,671	+325
有形固定資産	89	77	▲12
のれん	64	351	+287
ソフト+ソフト仮	133	110	▲22
無形固定資産合計	197	462	+264
投資その他の資産	298	461	+163
固定資産合計	585	1,001	+415
資産合計	2,930	3,672	+741

(単位：百万円)

負債の部	FY2022	FY2023 3Q	対前期末
買掛金	175	266	+90
短期有利子負債	141	136	▲5
未払金	387	412	+25
流動負債合計	1,159	1,307	+147
長期有利子負債	54	40	▲14
固定負債合計	58	41	▲17
負債合計	1,217	1,348	+130
純資産の部			
株主資本合計	1,713	2,324	+611
純資産合計	1,712	2,323	+611
負債純資産合計	2,930	3,672	+741

3. 業績見通し



過去最高売上、利益を更新見込み

	FY2022 実績		FY2023 予想			（ご参考） 当初予想 (2022/5/13)		
	(百万円)	売上高比 (%)	(百万円)	売上高比 (%)	対FY2022 増減 (百万円)	対FY2022 (%)	(百万円)	対FY2023 直近修正予 想(%)
売上高	6,707	100.0	8,847	100.0	+2,140	+31.9	8,200	+7.9
営業利益	570	8.5	962	10.9	+392	+68.8	697	+38.0
経常利益	580	8.6	972	11.0	+392	+67.6	706	+37.7
親会社株主に帰属 する当期純利益	413	6.2	647	7.3	+234	+56.6	482	+34.2
1株当たり 当期純利益（円）	60.17		95.41				71.29	

2023年3月期の業績予想については、8月10日、11月14日に業績予想の修正を公表しております。上記の予想は11月14日に公表した業績予想数値となります。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測等に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

過去最高売上を更新、成長投資積極化により利益は上期同程度見込み

	FY2023上期 実績		FY2023 下期 直近予想（11/14）			
	(百万円)	売上高比 (%)	(百万円)	売上高比 (%)	対上期 増減 (百万円)	対上期 (%)
売上高	4,169	100.0	4,678	100.0	+508	+12.2
営業利益	478	11.5	484	10.3	+5	+1.2
経常利益	483	11.6	488	10.5	+5	+1.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	310	7.5	337	7.2	+26	+8.4

成長加速のために
投資を積極化
(詳細次ページ)

下期の利益は上期
と同程度となる見
込み

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測等に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

持続的成長に向けて下期に積極投資

来期目標売上高
100億円以上の達成 

来期以降の
持続的事業拡大 

プライム市場上場を
見据えた体制構築 **PRIME**

① 来期コア人材採用に向けた投資

- ・採用チームを上期の1.5倍規模に拡大
- ・コア人材採用のため上期比70百万円の採用コストを積増
- ・一時的に人材紹介会社への紹介手数料を大幅引上げ
- ・採用広報チーム立上げ、採用広告拡大、採用HPの刷新
- ・ビジネスパートナー採用チームの人員拡充

③ マーケティング強化

- ・T-DASH※及びPrime WAF※等サブスクリプション型自社開発ツールの拡販投資

※ T-DASH及びPrime WAFのご紹介は49ページにございます

② グループ拡大に向けた組織体制強化投資

- ・組織拡大に向けて、エンジニア以外の人材投資
- ・M&A、グループ拡大に適した組織体制強化施策へ投資
- ・プライム市場上場を見据えた諸制度強化施策へ投資

④ 働きやすい環境整備

- ・東京本社拡張移転等、従業員の労働環境向上と業務拡大対応のための環境整備投資

持続的成長に向けて下期に積極投資

来期目標売上高
100億円以上の達成 

来期以降の
持続的事業拡大 

プライム市場上場を
見据えた体制構築 **PRIME**

① 来期コア人材採用に向けた投資

- ・採用チーム採用3名
- ・コア人材採用のため上期比70百万円の採用コストを積増
→ 4Q以降へ一部ずれ込み
- ・自社での入社祝いキャンペーンを開始
- ・採用広告拡大、採用HPの刷新着手

③ マーケティング強化

- ・T-DASH※及びPrime WAF※等サブスクリプション型
自社開発ツールの拡販投資を継続するも 4Q以降へ一部ずれ込み

※ T-DASH及びPrime WAFのご紹介は49ページにございます

② グループ拡大に向けた組織体制強化投資

- ・非エンジニア採用13名
- ・持株会社体制への移行に関する検討開始

④ 働きやすい環境整備

- ・東京本社拡張移転 2023年2月20日
- ・大阪本社拡張 2023年3月1日予定
- ・JISEDAI手当支給開始 次世代を担う若年層社員へ最大2万円/月
- ・インフレ特別手当 10,11月支給

4. 成長戦略



4つの基本戦略と投資コントロールで**規模成長**と**高利益率**を両立

① 人的資本への投資

- ・積極的、計画的な人材採用
- ・未経験人材の早期戦力化
- ・キャリア人材の高スキル化
- ・外部人材の有効活用

成長を持続

② エンタープライズ 領域拡大

- ・専門部署の設置
- ・ハイレイヤーの採用
- ・外部との協業
- ・ナレッジ蓄積

利益率向上、
参入障壁構築

③ 知的財産の拡大

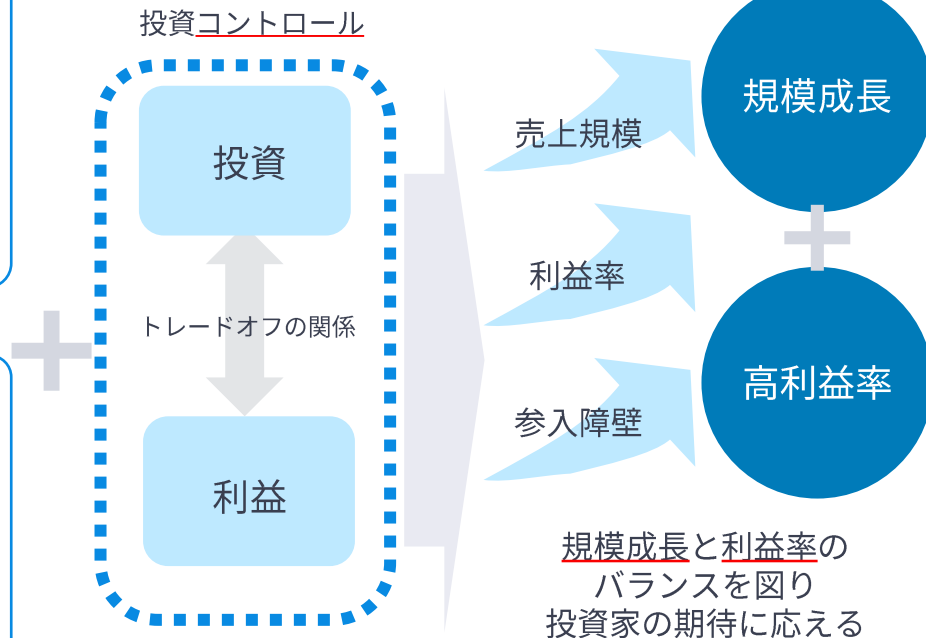
- ・テスト・教育ノウハウ蓄積
- ・ナレッジ蓄積
- ・新規技術の開発
- ・新技術企業への投資・協業

参入障壁構築、
新たな価値創造

④ M&Aと組織強化

- ・既存領域のM&A
- ・ポートフォリオの多様化
- ・M&A組織体制の最適化
- ・グループガバナンスの向上

売上、企業価値、
環境変化対応力向上

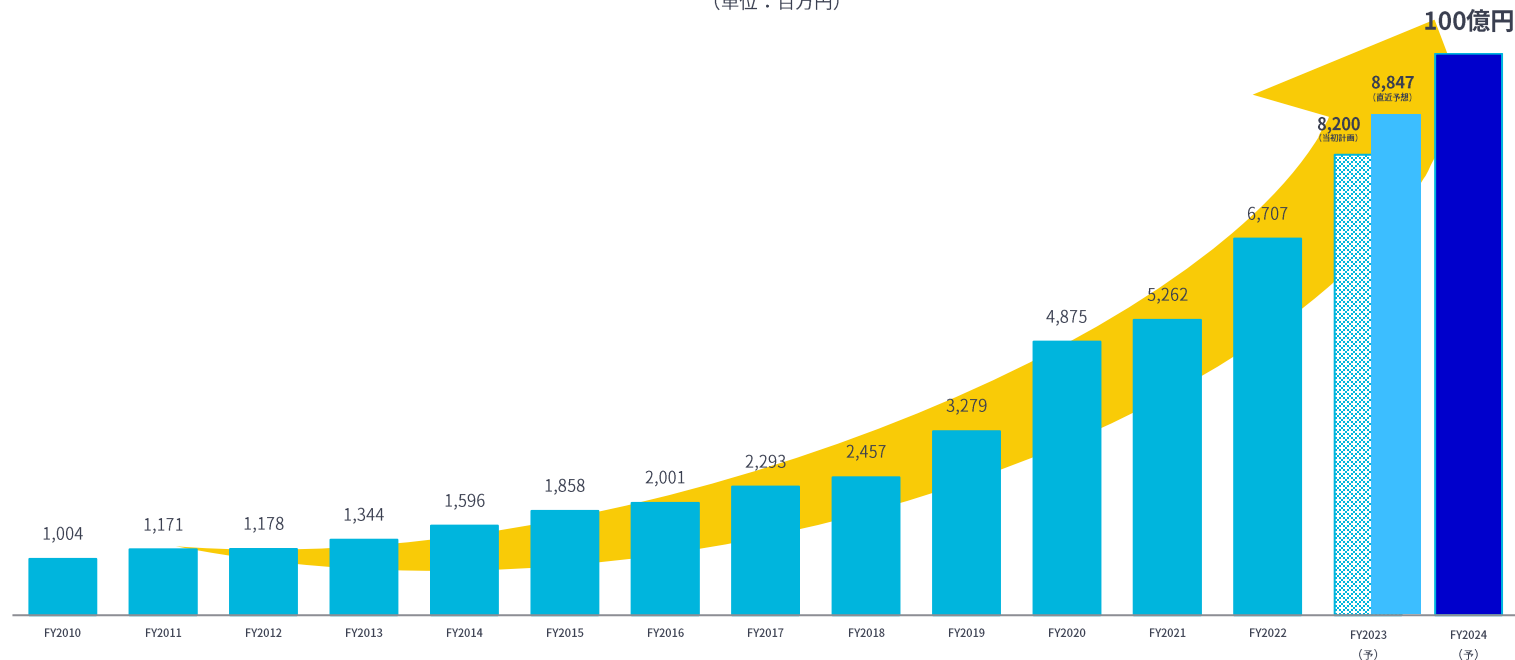


詳細につきましては、2022年6月28日に公表いたしました「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」を下記のURLよりご参照ください。
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/4442/tdnet/2149176/00.pdf>

ソフトウェアテスト市場の成長から、FY2024に売上高**100億円以上を目指す**

売上高の推移

(単位：百万円)

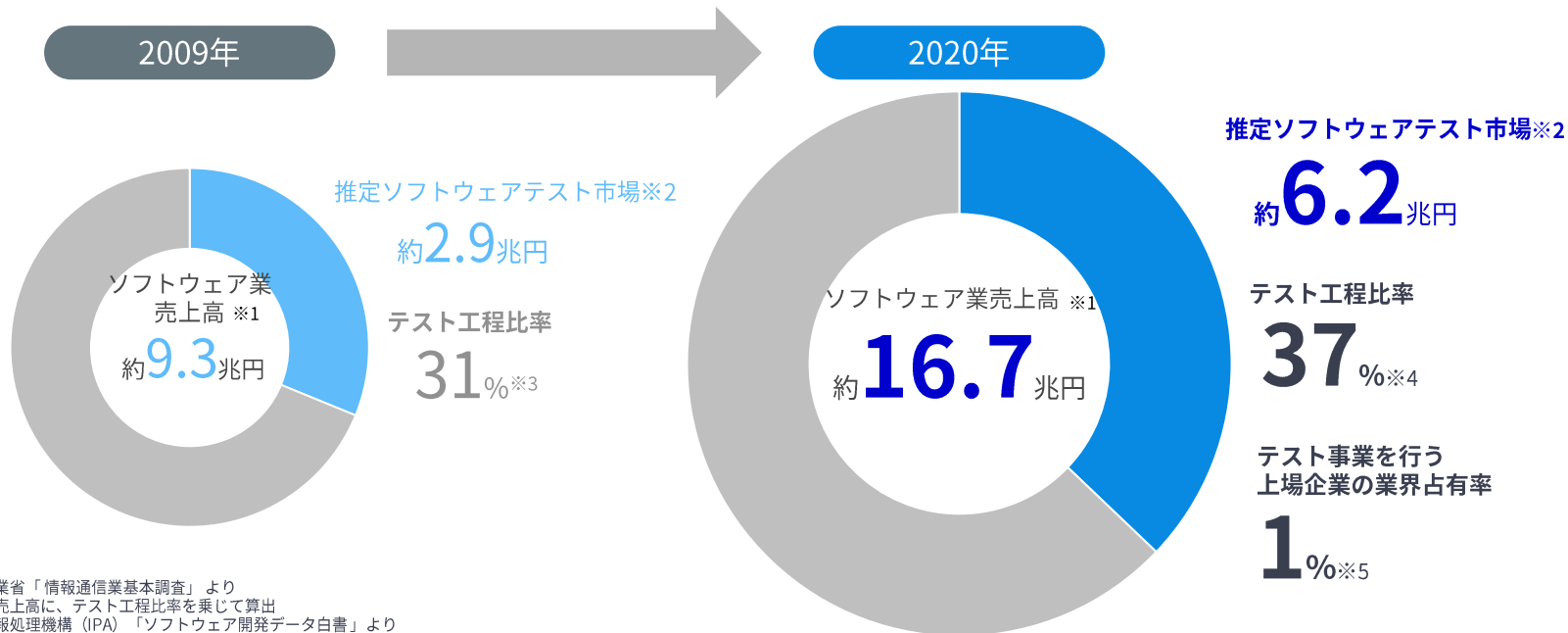


5. ソフトウェア事業環境



当社が推定する日本のソフトウェアテストの市場規模は**約6.2兆円**

ソフトウェア業売上高に占めるテスト工程比率の推移と市場規模推計



※1 総務省・経済産業省「情報通信業基本調査」より
※2 ソフトウェア業売上高に、テスト工程比率を乗じて算出
※3 独立行政法人情報処理機構（IPA）「ソフトウェア開発データ白書」より
※4 独立行政法人情報処理機構（IPA）「ソフトウェア開発分析データ集2020」より
※5 テスト・デバック事業をメインとする上場企業の売上合計より

ターゲット業界の高いCAGR、ソフトウェアテスト市場も**CAGR12.4%**

	市場規模		CAGR	出所	
エンタープライズIT	国内	2024年	12.8兆円	3.4%	IDC Japan 国内エンタープライズIT市場予測
AI	国内	2025年	4,910億円	25.5%	IDC Japan 国内AIシステム市場予測
メタバース	世界	2024年	7,833億ドル	13.1%	Bloomberg https://www.bloomberg.com/professional/blog/metaverse-may-be-800-billion-market-next-tech-platform/
Web/E コマース	世界	2024年	4.9兆ドル	20.7%	eMarketer, Dec2016 経済産業省「平成29年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備」(電子商取引に関する市場調査) 世界のBtoC電子商取引市場規模の推移
IoT	国内	2025年	10.2兆円	10.1%	IDC Japan 国内IoT市場 支出額予測
車載ソフトウェア	国内	2025年	1.1兆円	4.5%	矢野経済研究所 車載ソフトウェア市場に関する調査

その他、国内外のソフトウェアテストが関係する業界の市場規模を合わせ、世界全体での可能性



<u>ソフトウェアテスト</u>	世界	2025年	344.9億ドル	12.4%	Technavio Software Testing Services Market by Product, Geography, and End-user - Forecast and Analysis 2021-2025
------------------	----	-------	----------	-------	---

「デジタル庁の創設」 「コロナ禍で進んだ社会の変化」 「サイバー攻撃の増加」

DXが加速、セキュリティ対策需要も増大

コロナ禍で進んだ社会の変化

- テレワークの定着
- EC消費の定着
- オンラインコミュニケーションの定着
- 余暇時間の増加

デジタル庁の創設

- 国/自治体のシステムの統一
- 行政のオンライン化
- 品質意識の向上
(コロナ禍での不具合続出)

サイバー攻撃の増加

- 身代金目的のサイバー攻撃増加
- 日本の大企業の多くがサイバーセキュリティ対策不十分

デジタルトランスフォーメーション (DX) 加速

2.セキュリティリスク増

セキュリティサービス
需要の増加

1.ソフトウェア開発

エンタープライズ領域の
ソフトウェアテスト
需要の増加

3.人材不足

人材不足を解消する
手立てがカギ

ソフトウェア開発企業の悩み

- コスト高な開発エンジニアの労働時間の約4割がテスト・検証に割かれる
- テスト工程は開発者のモチベーションが上がらず、非効率
- 開発者自身がテスト・検証を行うのは客観性が無く信頼性に欠ける

テスト工程がアウトソースされなかった理由

- 大手SIerが案件を一括受注し、傘下の下請け・孫請けに発注。その開発エンジニアがテスト工程まで行う構造であった。

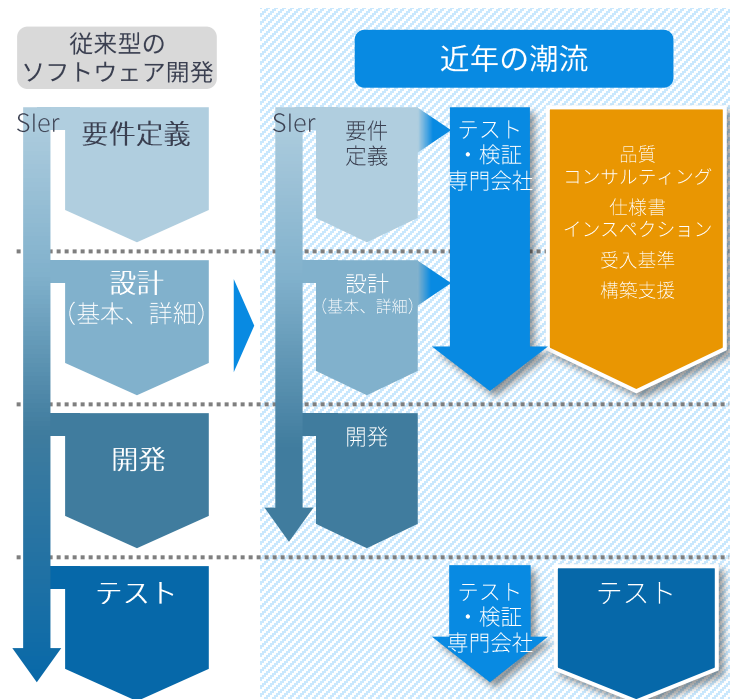


テスト工程のアウトソース化が加速！

- 開発担当者によるテスト時間の短縮により、開発コストが減少（開発担当者がテストを実施する場合の※60%~70%程度で対応可）※当社調べ
- 再現性・共有性の高いテストの方法論（各社独自のメソッド）が確立することで網羅的で高効率なテストが実現可能に
- 第三者のテスト専門会社によるテスト・検証の有効性が注目

ソフトウェアテストは 開発企業からテスト専門企業へ

ソフトウェア開発の業務フローの変遷



ユーザー企業からの受入テストの増加

背景

- 各社がDX投資を推進（2018年に経済産業省が推進を提唱）
- 旧システムのマイグレーション、パッケージシステムの導入が増加。ユーザー企業から開発会社への発注増
- DX推進により、4年で約1.2兆円の市場規模拡大（ソフトウェア業売上高）



ユーザー企業の悩み

- プロジェクトの品質が心配（技術スキルでSlerと対峙できない）
- 発注しているSler・開発会社の手戻り工数が多い
- ユーザー企業の人員不足（受入テスト時に要員確保が出来ない）



品質管理の第三者機関として、バルテスがユーザー企業をサポート

当社の立ち位置と支援項目

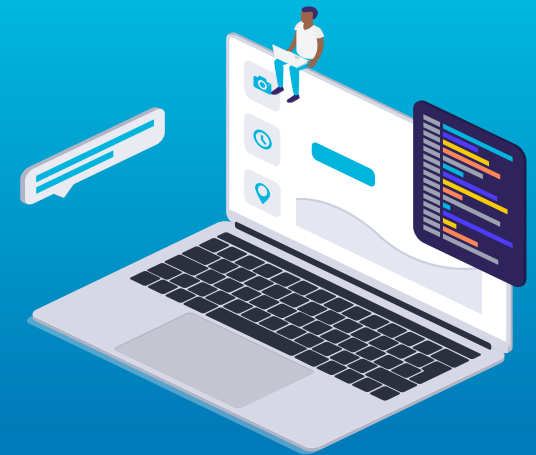


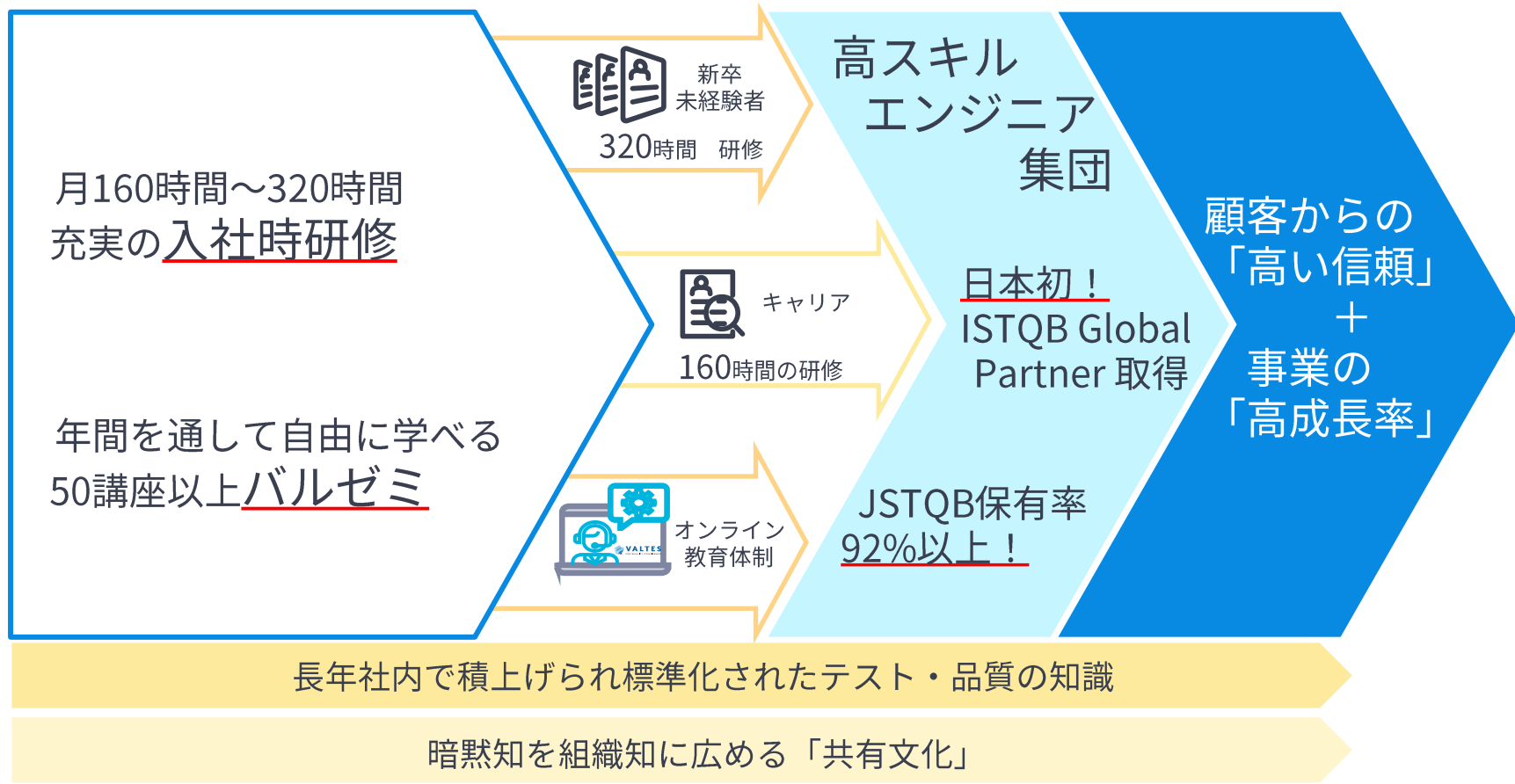
- 受入テストの上流工程支援（次フェーズへの移行基準・リスクの洗い出し等）
- 総合テスト支援および品質管理提案（Sler・開発会社への提案をユーザー企業と実施）

当社がQCD※を管理・支援
ユーザー企業からの依頼が増加中

※QCD：Quality(品質)・Cost(コスト)・Delivery(納期)の頭文字をとった用語

6. 当社の優位性





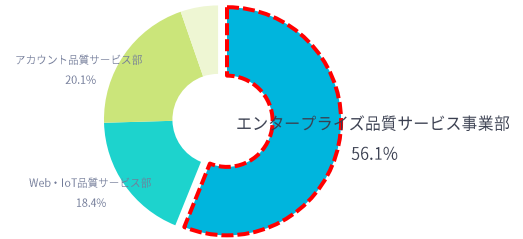
▶ 当社の優位性 エンタープライズ領域に特化した体制と専門性

エンタープライズ領域の特徴

- 単価 **高** 案件規模 **大** 契約期間 **長**
- 開発、業務知識等、テスト以外の知識を求められる → 難易度 **高**
- マイグレーション等※の増加で市場は **拡大**

※ソフトウェアやハードウェア、システム、データ、開発言語などを別のプラットフォームに移行したり、新しいシステムに切り替えたりすること

部署別売上高構成比 FY2023 3Q



ソフトウェアテスト売上全体の **50%** を占めるまでに成長

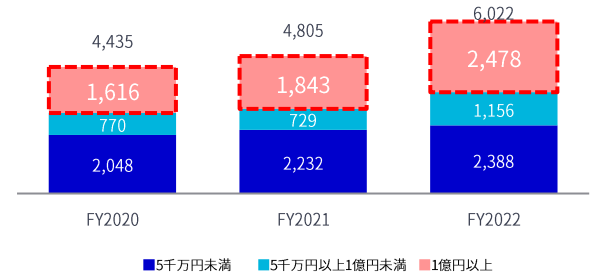
当社の優位性

エンタープライズ専門部署を2020年4月に設立
組織体制の強化により 専門性が向上



- 専門部署による組織的対応 • 経験豊富なハイレイヤーの採用
- 本領域に強い人材を供給可能な 外部協力会社との取引拡大
- 質、量ともに豊富な 当社のテストノウハウ
- 上流工程からの品質支援ニーズ に対応

取引先あたり売上規模別の売上高推移 (ソフトウェアテスト) (単位: 百万円)



案件の大型化が進む

サイバー攻撃増加

- 企業へのアタック増加
- 企業の多くがサイバーセキュリティ対策不十分



個人情報取得



サイト改ざん



不正ログイン



セキュリティ・脆弱性診断サービス

脆弱性の可視化・治療

- ハッキング等の脆弱性を確認する
診断サービス+脆弱性向上のための対策アドバイス
- 直近3年CAGR 36.1%と順調に拡大



攻撃可視化・防御ツール「Prime WAF」

攻撃に対する防御

- 初期費用0円で導入可能なWAFを2022年3月1日ローンチ
- サイバー攻撃を可視化、その攻撃のみをブロック。
- 分かりやすいUIで、攻撃防御の「結果」が明確
- 低コスト、カンタン導入で中小企業も利用可能

サイバー攻撃に関し、点ではなく線で対策を行う
セキュリティサービスが提供可能に

7. 会社概要



「品質向上のトータルサポート企業」を経営方針に掲げ、事業を展開

会社名	バルテス株式会社
会社設立	2004年4月
上場	2019年5月 東証マザーズ (現 東証グロース 証券コード：4442)
本社住所	大阪市西区阿波座1-3-15 (大阪本社)
事業内容	ソフトウェアテストサービス 品質コンサルティングサービス ソフトウェア品質教育サービス セキュリティ・脆弱性診断サービス
子会社	バルテス・モバイルテクノロジー株式会社 株式会社アール・エス・アール 株式会社ミント VALTES Advanced Technology, Inc. (Philippines)
従業員数	779名 (2022年12月末 グループ5社計)
内、総エンジニア数	677名 (2022年12月末 グループ5社計)
総資産	3,672百万円 (2022年12月末 グループ5社連結)



代表取締役社長

田中 真史
Tanaka Shinji



私たちは品質にコミットし、安心・安全なICT社会の実現に貢献します。



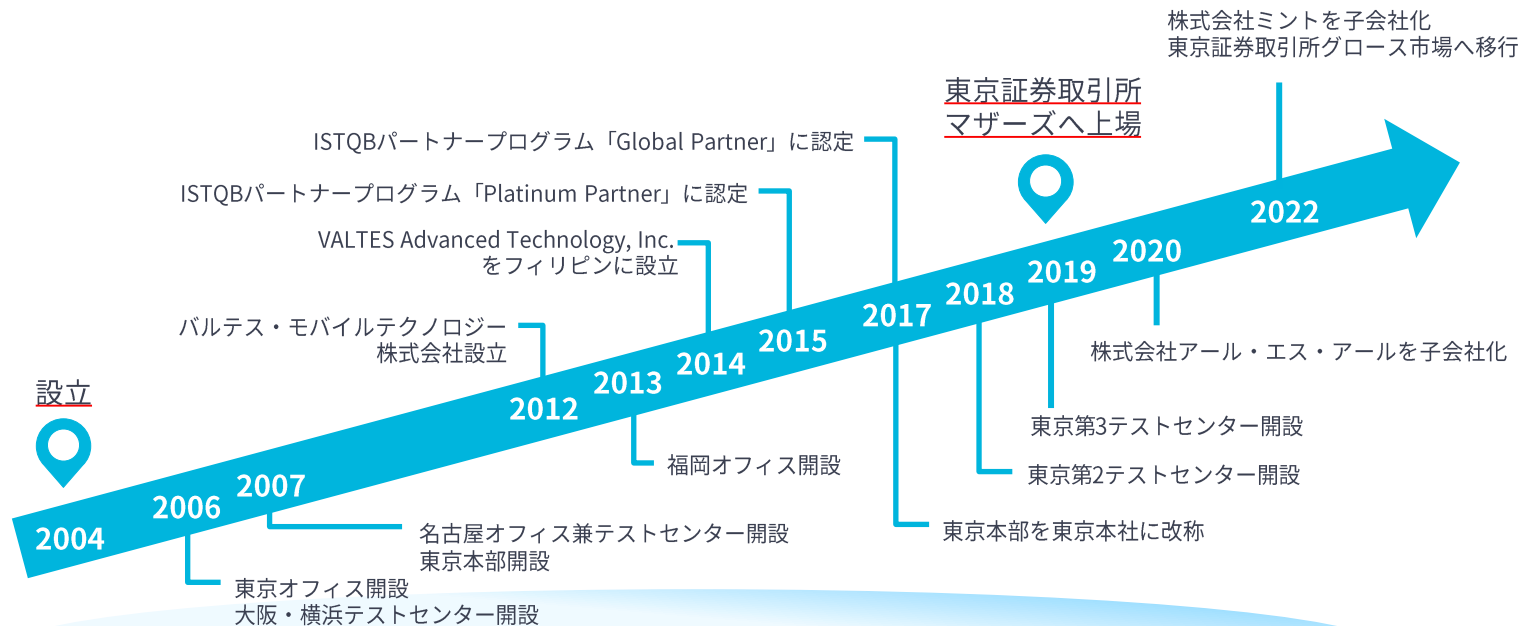
私たちはICT社会に貢献する人材を育成します。



私たちは多くの価値を創り、お客様と共に喜びを分かち合います。

2004年4月、設立。ソフトウェア品質に関わるサービスを提供。

ソフトウェアテスト専門会社として、**年間2,600件以上**のプロジェクト実績



高スキル エンジニア

- エンジニア適正試験
 - 独自の研修カリキュラムによる早期戦力化
 - JSTQB※1保有率92%以上！（入社2年目以降の正社員）
 - ISTQB※2 Global Partner
- ※全世界10社のみ、日本初！



豊富な実績

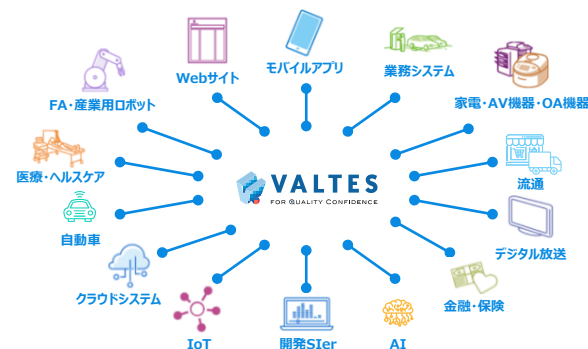
- 業種毎の豊富なテスト観点
- 年間2,600プロジェクト、1,000社以上の導入実績



日本で初のグローバルパートナー

標準化・ プロセス

- ISO/IEC/IEEE 29119※3準拠テンプレート
- QUINTEE※4（テストの進行基準）
- 標準化されたテスト設計手法による
抜け漏れ・誤認識を排除



※1：JSTQB(Japan Software Testing Qualifications Board)とは、国内のソフトウェアテスト技術者認定組織のこと

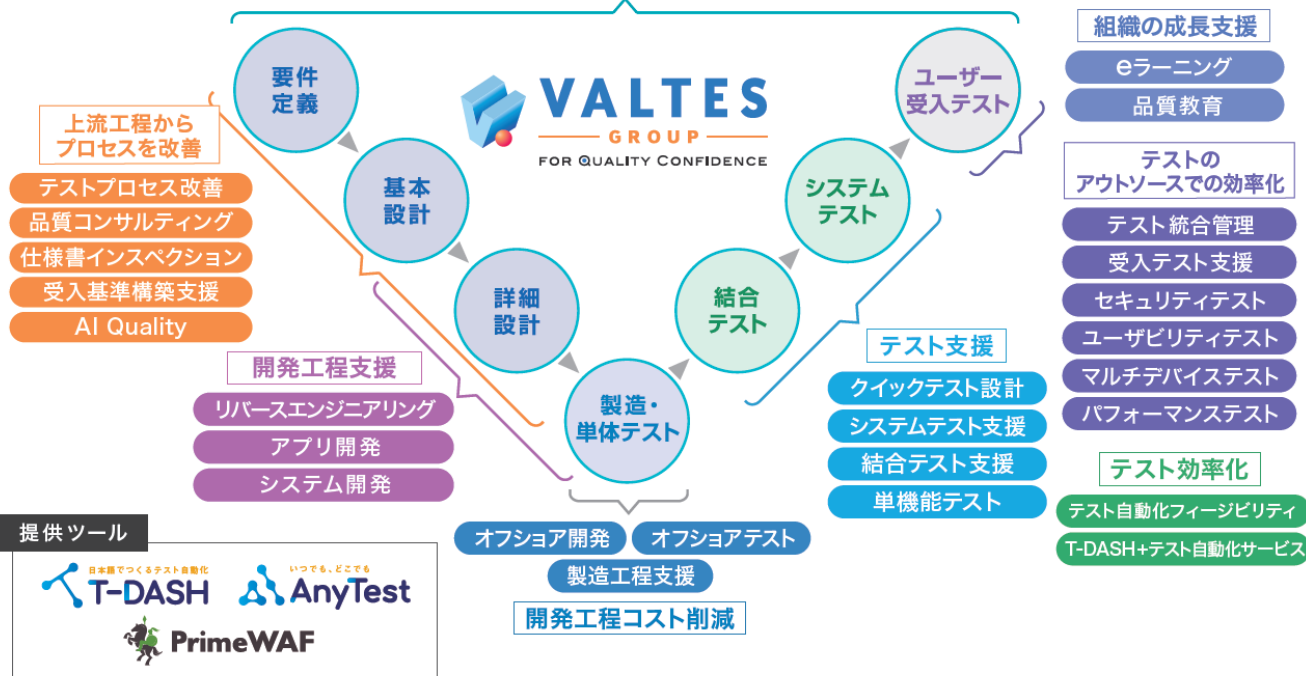
※2：ISTQB(International Software Testing Qualifications Board)とは、世界130カ国のテスト技術者認定組織のこと

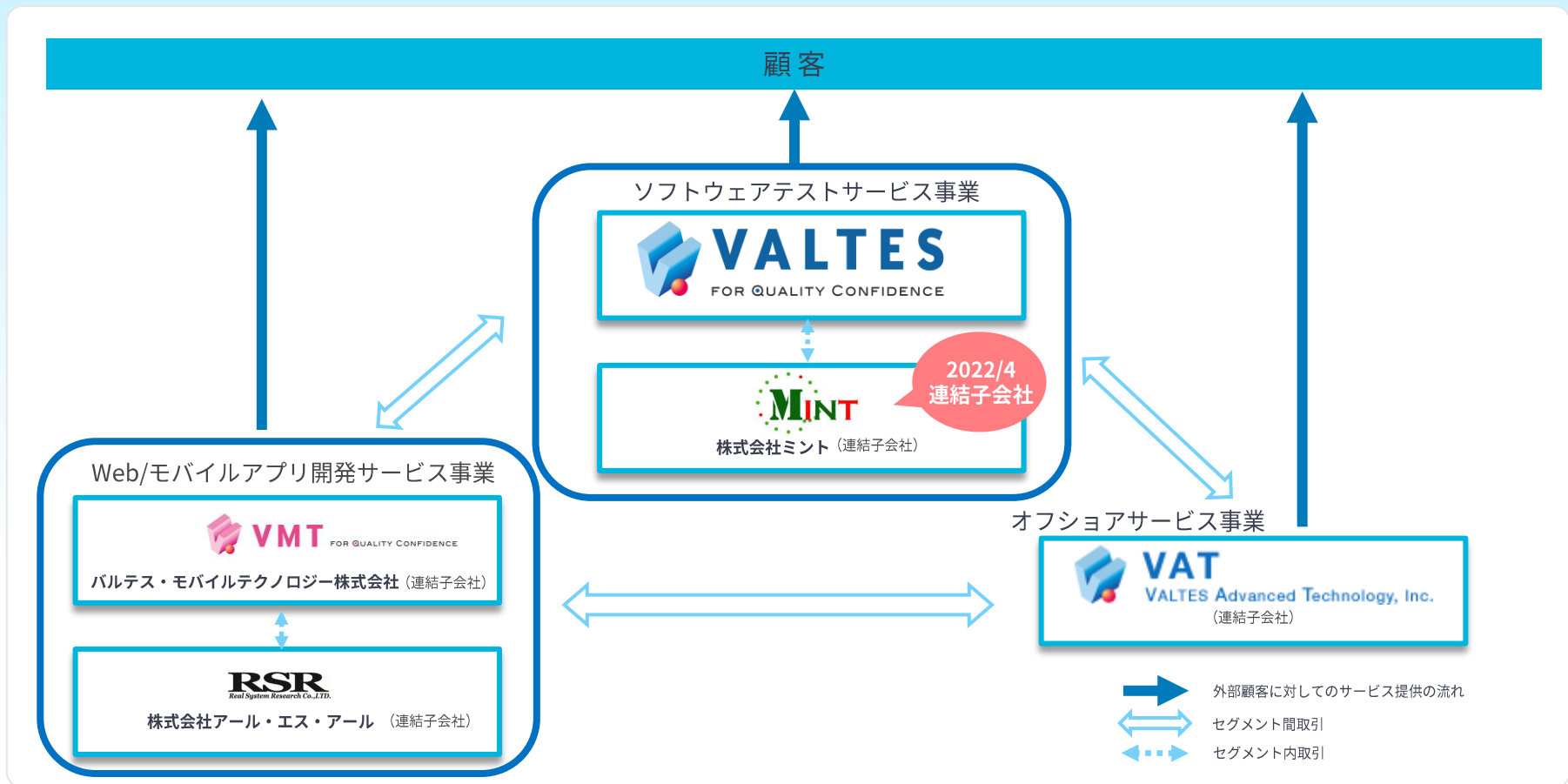
※3：ISO/IEC/IEEE 29119とは、ソフトウェアテストの統合的な国際規格のこと。ISO、IEC、IEEEという3つの標準化団体が合同で策定しているため、この名称で呼ばれる

※4：QUINTEEとは、当社がソフトウェアテストを主軸に、品質向上・生産性向上に関連する知見を体系化したもの

ソフトウェア開発の全工程で、ソフトウェア品質の向上支援サービスを提供


組織の問題解決 クイックサーベイ エンタープライズ品質向上サービス アジャイル開発テスト支援
PMO支援 品質管理支援 Quality Assurance組織支援





当社サービス一覧

1 テスト情報プラットフォーム「Qbook」
ソフトウェア品質向上のためのプラットフォーム。バルテスが培ってきたテスト・品質向上ノウハウを無料で提供




2 テスト自動化ソフトウェア「T-DASH」
非エンジニアでも“カンタン”にWebアプリケーションの動作確認・検証を可能にするテスト自動化ツール



3 従量制のクラウド型WAF「PrimeWAF」
簡単・低価格で導入可能なクラウド型のWAFサービス。様々なサイバー攻撃からWebサイトを防御




4 いつでもどこでも実機テスト「AnyTest」
クラウド上で実機を遠隔操作。豊富な機種・OSのラインナップ。リモートなのにラグのない操作感



2022/8 リリース

出資法人一覧

1 株式会社カラーアンドデコ
3D・VRを利用したインテリア空間デザインサービスを提供



2 I Check 株式会社
PCR検査キット事業や健康プラットフォーム事業を提供



3 株式会社FUNDINNO
国内最大級の株式投資型クラウドファンディングサービスのプラットフォームを展開



2022/4 出資

働きやすい環境の整備



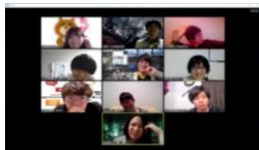
- ・男性育休制度導入
- ・働き方改革
- ・ホワイト企業認定 ゴールドランク取得
- ・産業保健師制度導入
- ・必要に応じて、抗原検査キットやPCR検査を従業員に無償提供
- ・パートナーシップ制度の導入
- ・社外監査役として女性役員の就任

VALTES 株式会社
SDGs 2023 報告書

【社員インタビュー】男性社員の育休取得実績



▲育休実績のある男性社員のインタビュー記事を、社内でも積極的に展開し、取得を推奨



▲オンライン懇親会制度などを設けて在宅勤務社員のフォローも実施

IT人材の創出



- ・充実した社内研修システム
- ・当社のソフトウェアテストノウハウを生かした資格支援サービスの提供
- ・ソフトウェアテストに関する技術書籍の出版
- ・ソフトウェア品質向上プラットフォーム「Qbook」の運営
- ・テスト技術をゼロから学べる無料eラーニングコンテンツの公開



▲未経験者は2カ月、経験者でも1カ月の入社時研修を実施

技術革新の拡大を図る



- ・京都工芸繊維大学との共同研究論文を発表
- ・ソフトウェア製品の品質確保のために世界中の企業とパートナーを組むことで目標達成を実現

安心・安全なまちづくり



- ・ソフトウェア製品のテストを実施し品質を確保することで、安心・安全なICT社会を実現

ご留意事項

本資料には、当社グループの現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
これらの将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに
当社が計画・予想したものであります。

実際の業績などは、今後の様々な条件・要素により、この計画・予想などとは異なる場合があります、
この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。
なお、この資料への公認会計士、監査法人の関与はございません。



